

きよまる 八方 NO.54



発行：社会福祉法人 清和会
広報部
発行日：令和4年2月10日
住所：〒512-0913
四日市市 西坂部町 1157 番地
TEL：(059) 330-0610
FAX：(059) 330-0613
URL：<http://seiwakai-mie.com>



虐待防止への新たな動き

国の介護報酬改定により、令和4年度から障害者虐待防止の更なる推進のため、施設の運営基準に以下の内容が盛り込まれることになりました。

- ① 従業者への研修実施
- ② 虐待防止のための対策を検討する委員会として虐待防止委員会を設置するとともに、委員会での検討結果を従業者に周知徹底する
- ③ 虐待の防止等のための責任者の設置

そのうち、①と③は努力義務から義務化になり、②は新規に義務化されることになりました。虐待防止委員会に求められる役割は、虐待の未然防止や虐待事案発生時の検証や再発防止策の検討等です。

当法人では、平成30年1月19日に外部の有識者を含めた虐待防止委員会を設置しました。また職員で構成する研修委員会・安全委員会・身体拘束廃止委員会を設置し、現場での事例検討を行うとともに虐待行為や人権侵害が発生していないか話し合う場としています。

新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、DVや児童虐待が増加しているとの報道を耳にします。外出自粛、社会環境の変化等は、様々な生活不安やストレスの要因となっており、弱い立場の者への攻撃となって表出する可能性が高くなります。誰しもが虐待行為や人権侵害が悪いことと理解していながら、これらがなくなるには個人の意識だけでは限界があるからだと考えられます。そのために周囲の関わりも大切にし、個人を孤立させず、組織（チーム）として虐待行為・人権侵害の問題に取り組む体制を構築していきます。

○ お茶の寄付を頂きました

令和3年12月、安田製茶様より、ほうじ茶をいただきました。食事や休憩の際に、いただいております。ありがとうございました。



清和ワークキャンパス就労継続支援 B 型

清和ワークキャンパス就労継続支援 B 型では、地域で暮らしている障がいのある人で、一般就労に結び付かない人や仕事をする事で社会的な自立を目指したい人に働く場を提供するとともに、必要な知識を学んだり、障がいのある人の能力を高めるための支援を行っています。作業は主にウエス作業をしており、ハーネス作業、椎茸栽培もあります。

ウエス作業

毎週1,500kg~2,000kgの原料(古着やタオル)が入荷します。まずは入荷した原料のボタンなどの不要物を外します。その後、裁断機やハサミ・電動ハサミを使用して既定の大きさに裁断し、20kgずつ納品袋に詰めて出荷します。



ボタン外し



〈裁断機〉



〈ハサミ〉

裁断



〈電動ハサミ〉



計量



ハーネス作業

昨年7月より新しくハーネス作業を始めました。

工程も多く、細かい作業に苦戦していましたが、徐々にコツを掴んできています。



椎茸栽培



利用者募集

利用定員15名中13名の方に利用いただいております、あと2名の利用が可能な状況です。令和2年度は利用者平均工賃28,025円/月の実績があり、コロナ禍ですが、今年度の平均工賃は増加する見込みとなっています。ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

電話番号 059-332-6159 清和ワークキャンパス(担当:河合・中川)

活動の様子

年越しそば【清和苑：入所部 グループホーム：清和ホーム・清和ホーム東山】

2021年雪の降り積もる大晦日、1年の締めくくりとして年越しそばをみんなで食べました。

年越しそばを食べる理由には諸説あります。有名なところでは、そばは細く長く伸びることから長寿や無病息災を願うためというもの。また、そばは切れやすいので、一年の苦労や不運を断ち切って新年を迎えるためというもの。他には昔

の金銀細工師が、散らばった金粉を集めるときにそば粉を使っていたことにあやかって、金運を呼ぶためと

いうものもありますよね、などと言っているうちにみなさん食べ終わってしてしまいました。やっぱり美味しいからってというのが一番ですね。

2022年も良い年になりますように。



福笑い【清和苑：通所部】

新年を迎え、福笑いをして楽しみました。「これは目かな?」「これは何処に置いたらいいんやろ?」と考えながら置いていきます。目隠しをしているので、使っていないパーツが何処にあるのか分からなくなるといったハプニングもありましたが、ちょっと変顔なおかめちゃんが完成♪目隠しを取ると皆さん笑って見えました。

笑う門には福来る、今年もたくさんの福が来ますように!



※フェイスシールドに紙を貼って目隠ししています。

利用者の広場



利用者の作品



書初め【清和苑：通所部】

2022年1月、書初めをしました。「何を書いたらいいの?」「難しいわ」という消極的な声もありましたが、いざ始めてみると見本を見ながら真剣に書いてみえました。2022年も皆さんにとって良い年になりますように。

利用者の作品



干支の置物

【清和ワークキャンパス：生活介護】

毎年恒例！紙粘土で干支の置物を作りました。今年は寅です。

見本をじっくり見ながら作る方や紙粘土の手触りを楽しみながらマイペースに作る方がいて、個性豊かな作品が出来上がりました。

季節の給食メニュー



1月7日は、“清和会オリジナル七草粥”を提供しました。本来の春の七草ではなく、利用者の皆さんが食べやすいよう、大根、小松菜を入れ、かつおだしで七草風にアレンジしました。また一口サイズにカットして食べやすくしています。

正月料理のごちそうで疲れた胃を休めていただき、一年間元気に過ごしてほしいです。

